

個人山行報告書

通算山行NO	個人NO. 1270	報告者	後藤隆徳
年月日	07年04月29日(日)	2万5千	白馬町
山名	白馬・小日向山(三角点あり・1907m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 藪漕度=ない 道標=あるが雪に埋まっている 展望度=素晴らしい 三角点=頂上にあるが雪の中 トイレ=猿倉にあり			
白馬岳はまだ冬の様相だった			
コース とタイム	下土狩発5:00-甲府-中央道-豊科-白馬-猿倉9:00-出発9:15 -小日向のコル11:15-小日向山11:30~12:15-猿倉15:00-「小日向の湯」(500円)		
標高差	上り=猿倉約1250m~小日向山1907m=約657m 下り= 同上		
参加者	CL・後藤隆徳、ほか		



連休前半は、白馬方面に遊びに行く。いろいろ案はあったが結局、上っていない山がベストで、小日向山に向かった。

この山は以前、山スキーで南面から上っているが、歩きでは上っていなかった。北面の猿倉から一度上りたい山である。

猿倉は久しぶりだった。今期はスキーでも訪れていなかった。雪はさすがに少なく、例年の半分だろうか。

気温は高く雪は腐っている。アイゼンを付けなくても問題なかった。この時期さすがに登山者は多い。大雪溪より小日向山が多く、踏み跡はしっかりしている。

天気は快晴でここは無風だが、白馬岳稜線雪煙がプンプン上がっている。

昨日、大雪溪で雪崩があり、何人か流された。長野県警のヘリが右に左に旋回していた。でも結果、怪我人はなかったようだ。

小日向のコルまで上がると、三山がひときわ大きく、まだまだ冬の様相。中でも直近の白馬鑓は、ひときわ大きく立派。

ひと上りで小日向山山頂。東西に長い頂。360度の展望で戸隠・妙高・火打・浅間・奥秩父・八ッ・南アが見える。ザックを広げ軽い昼食。ちょっと風が冷たい。

コルに戻ると、何処かの大きなテントが三つもあり、十数名が歓談をしていた。これ程の人数になると、トイレ問題が気になってしまう。

帰りは早い。雪が崩れて「バウムクーヘン」みたいな雪塊が、ノタノタと転がって行く。以前から入りたかった「小日向の湯」を初めて入った。